

違法「運転代行」に注意

飲食店から駐車場までの間で酔客を随伴車に乗せ無許可のタクシー営業をする「白タク」など、一部の運転代行業者による違法行為が問題となっている。県警は営業所への立ち入り調査で指導に当たっているが、帳簿の確認だけで全ての問題を見抜くことは難しく、中には無免許運転を繰り返していた悪質な業者も。新規参入業者の増加で競争が激化する中、関係者からは「違法な業者に業界を荒らされ続け、このままでは安心して利用できる業者が消えてしまふ」と将来を危ぶむ声が上がっている。

業界内に危機感

酔客の代わりに業者が 手頃な料金で利用で車を運転し、自宅などに 翌日もすぐに車を送り届ける運転代行。飲 える手軽さから全国で酒運転撲滅の機運が高ま 急速に普及した反面、随 ち中で新規参入業者が増 伴車に利用客を乗せて 加し、県警交通総務課に 営業する違法な白タク行 によると、県内で営業して いる業者は5月末時点で 303社に上る。

査では、加入が義務付け

白タク横行、無免許も



公益 社団法人「全国運転代行協会」のポス ターに参入でき るため「白 タクをばじ め法律を守 らない業者 が増え、野 放しになっ ている」と 指摘する。 国土交通 省と警察庁 は昨年3 月、白タク 車体表示のペイント化などを啓発する公益社団法人「全国運転代行協会」のポスターに参入できるため「白タクをばじめ法律を守らない業者が増え、野放しになっている」と指摘する。国土交通省と警察庁は昨年3月、白タク

られている代行保険への 未加入業者もいたとい う。 中には運転代行に必要 な第二種免許を取得せず に営業したとして、道交 法違反容疑で摘発された 業者も。この業者の50代 の兄弟は2005年1 月、弟が兄の試験を替え 二種免許取得など、一定 の条件を満たせば簡単に参入できるため「白タクをばじめ法律を守らない業者が増え、野放しになっている」と指摘する。国土交通省と警察庁は昨年3月、白タク

玉受験して第二種免許を 不正取得し、香取市を中 心に「無免許」状態で営 業を続けていた。 違法行為が相次ぐ現状 について、千葉市の運転 代行会社社長男性(62)は 「運転代行の認定制度に 問題がある」と指摘。第 「全国運転代行協会」(東 京都中央区)の県支部長、 安藤宗行さん(55)は「ペ イント化を守っているの は今でも全体の3割程 止。だが、公益社団法人 での期待されるのは、マグ ネット板を外した随伴車 による白タク行為の防 止。だが、公益社団法人 安藤宗行さん(55)は「ペ イント化を守っているの は今でも全体の3割程 止。だが、公益社団法人

行為の根絶を柱とする健 全化対策を策定してい る。今年3月には、業者 名を示す車体表示を脱着 可能なマグネット板から 「ペイントなどによる表 示」に変更すると義務付 けた改正省令が施行され たばかりだ。